ころんだ

子どもの転倒は、つかまり立ちができるようになる生後10か月頃から起こり始め、

· (A)

あさ

兒自

一人歩きを始める1歳でピークになります。

子どもは重心が高く、相対的に頭が大きいために転倒しやすく、低年齢ほど頭をけがしやすいです。

あさ

VI



応急処置のポイント

直ちに救急車を呼ぶ

❷ 意識がおかしい (興奮、眠りがち、反応が鈍い、 同じことを何回も言う)

- ❷ 目の周りや耳の後ろに あざがある

早めに救急外来を受診

- たんこぶがある、 意識を失ったけど 今は意識が戻っている
- ✓ 嘔吐する、強い頭痛がある









直ちに救急車

❷ 強く痛がって 顔色が悪いとき





直ちに救急車を呼ぶ

❷ 肩で息をするように苦しそう だったり、呼吸が速い



Y

直ちに救急車を呼ぶ

❷ 見た目が変形して 変形した場所より 先の色が悪く 触られても 感触がない





早めに救急外来を受診

🗸 変形していても 色が悪くなく 触った感じがわかる



家庭での事故(傷害)予防のポイント

自宅の中で、 つまずきやすい場所 や物がないように しましょう



自転車やキックスクーター などの乗り物を使用するときは ヘルメット、膝・肘当てをして 乗りましょう



水筒など、身につけるものは 転倒したときに けがにつながらないように たすきがけしないことを おすすめします



実際にあった事例

水筒による膵外傷 Injury Alert (傷害速報) No.59

7歳の男の子が、校庭でつま づいて転倒し、首からさげ ていた水筒が地面とお腹の 間に挟まり、みぞおちを強 打した。膵臓を損傷してお り緊急手術となった。

ベランダから落ちる

窓を開けたりベランダに出たりする機会が増える暖かい季節には、子どもが建物から転落する事故が増えます。特に4歳までの子どもで多く発生しています。小さい子どもほど、頭が重いため墜落する時に頭が下になり、

手で頭を守るなどの防御行動も難しいため、頭のケガが起きやすく、

重症になったり入院したりするリスクも高くなります。

応急処置のポイント

直ちに救急車を呼ぶ



- ❷ 反応がない
- ❷ 出血が多い





出血が多い

早めに救急外来を受診





受診を考慮







受傷から時間が経っていても受診を考慮しましょう



家庭での事故(傷害)予防のポイント

ベランダへの出入り口を施錠しましょう (床から 1.4m 以上の高い位置に補助錠を)



子どもだけでベランダ に出したり、ベランダを 遊び場にしたりする のは避けましょう



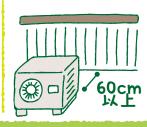
短時間でも 子どもだけを 家に置いて外出する ことは避けましょう



窓の近くやベランダ に足がかりになりそう なものを置かない ようにしましょう



エアコンの室外機は 手すりから60cm以上 離して設置しましょう



実際にあった事例

高所から墜落した4歳男児 学術報告(臨床小児医学,2016年)

5階の自宅にいた父が、窓が開いていることに気付き、 真下の芝生の地面に4歳息子が倒れているのを発見した。 救急搬送され、肺と肝臓に重傷を負い入院治療を要した。 高所から墜落した5歳女児 朝日新聞取材班著「小さないのち」を守る (2018年 12月 30日発行)

駐車場に車を取りに行こうと外に出た母が大きな物音で駆けつけると、家で留守番をしていた5歳長女が地面に倒れていた。長女は部屋を出て三輪車を踏み台に、7階外廊下の手すりを乗り越えたとみられた。一命は取り留めたが下半身まひの障害が残った。

サリケ

1歳前後の子どもの身長は70-80㎝程度ですが、

これは一般的なダイニングテーブルやコンロのグリル窓と同じぐらいの高さです。

テーブルの端においたものに手をのばしたり、テーブルクロスを引っ張ることで、

テーブルの上のお茶・味噌汁・カップ麺などの熱い飲み物や汁物をあびてやけどをします。

また、電気ケトルなどの電源コードを引っ張って倒したり、加湿器・炊飯器からでる蒸気に触れたり、

調理中や調理後のグリル窓やコンロ上のフライパンなどの調理器具に直接触れたりしてやけどをすることがあります。

応急処置のポイント



やけどをしたら、すぐに流水で冷やしましょう。 20分間は冷やしてください。 氷水はおすすめしません。

やけどの **範囲が広い**

無理に脱がせようと せず**着衣**のまま 冷やしましょう

服の上から

熱湯を浴びた



冷やしてる間に 体温が下がりすぎない ように気をつけ ましょう



ゃけどの **面積が広い**

20分間冷やした後 すぐに医療機関を 受診して下さい



20ff

2000

顔や頭、指の関節をやけどした

やけどの範囲が 小さくても医療機関 を受診して下さい



医療機関が遠い場合などは、救急車の利用を考えて下さい。

家庭での事故(傷害)予防のポイント

手の届く範囲を確認し、 やけどの危険がある飲食物は子どもの 手の届かない場所に置きましょう

また、テーブルクロスは 使用しないようにしましょう

調理器具は、使用中と使用後 温度が十分に下がるまで、 近くに子どもを近づけないように しましょう



電気ケトルやポットは、 倒れても中身がこぼれにくい 製品を選びましょう

加湿器や炊飯器は、蒸気が出ない、 もしくは高温の蒸気がでない製品 を選びましょう



電源コードが磁石などで容易に着脱する タイプの製品を選ぶか、 電源コードも含めて、 子どもの手の届かない場所に設置しましょう



実際にあった事例

電気ケトルのお湯による熱傷 Injury Alert(傷害速報)No.28

11ヶ月の女の子。床に置いてあった電気ケトルを倒して熱湯の溜まりの中にいるところを発見され、体の表面積の 25% のやけどを負っていた。

のどに何か詰まった。息ができない

まだ首が座っておらず、寝返りができない小さい子どもは、

クッションや枕、そして寝具など、眠っているときに周りにあるものが原因で窒息してしまいます。 普段、寝かしつけるために使っているもので子どもが窒息してしまうことは、想像できないかもしれません。 1歳以上になると、食物や小さなおもちゃなどを喉に詰まらせて息ができなくなることが多くなります。 子どもが、息をしていない、息ができていないと思ったら、すぐに救急車を呼びましょう。



呼吸ができているかどうか 確認しましょう。



応急処置のポイント



呼吸ができる

落ち着いて救急車を呼びましょう



呼吸ができない

救急車を呼んで、以下の応急処置をおこないます

1歳未満

背部叩打法 + 胸部突き上げ法



1歳以上

ハイムリック法





呼吸もなく、呼びかけても反応がない

救急車を呼んで すぐに心肺蘇生を行いましょう

家庭での事故(傷害)予防のポイント

1 歳未満



- 寝具は赤ちゃん用のものを使用しましょう
- 口を覆うものや、首に巻きつきそうな物は そばに置かないようにしましょう
- ベビーベッドの上に必要ない物は置かないようにしましょう
- 仰向けで寝かせましょう
- 添い寝する時は、保護者が寝込まないように注意しましょう

首に巻きつく ロを覆う はいしょう

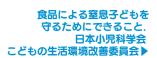


1 歳以上



- □の中に食べ物をいれたまま走ったり、 寝転がったりしないようにしましょう
- 食品は 1.5cm 以下に刻んで よく噛んで食べるように教えましょう
- お子さんの手の届く範囲に小さなおもちゃなどを 置かないようにしましょう
- パーカーなど洋服の紐が首に巻き付かないように、 JIS 規格にあった製品を選ぶように注意しましょう







よく噛む

実際にあった 事例

クーハン内で発生した窒息 Injury Alert No.19

1か月の男の子。普段から畳んだ毛布の上に乗せたクーハンで眠らせていた。母が目を覚ますと毛布が崩れてクーハンが傾き、児の顔面がクーハンの側面にうつ伏せの状態で押し付けられて、呼吸をしていなかった。

ブドウの誤嚥による窒息 Injury Alert No.49

2歳6か月の男の子。 母親と一緒に食卓に 座って、ブドウを丸ごと 一個食べた。突然咳き込ん で、意識を失った。ハイ ムリック法が施行され、 ブドウが排出されて、意識 が戻った。

おぼれる



4歳以下では家庭内の浴槽でおぼれる事故が多く、5歳以上になると屋外での溺水事故が増えます。

子どもがおぼれる事故を経験した保護者の8割以上が「悲鳴や助けを求める声が聞こえなかった」とも言われます。

おぼれるとき、子どもは声を出さず、静かに沈むのです。

たった3cm以上の深さがあれば、乳幼児はおぼれる可能性があります。

おぼれてもすぐに引き上げ、その直後から泣いているならほとんど心配ありませんが、

反応がないようならすぐに救急車を呼びましょう。



応急処置のポイント

泣かずに ぐったり

名前を呼んだり 軽く叩いて反応をみましょう



反応が ある

水を吐かせる目的で 軽く背中を叩きましょう



乾いた衣服に 着替えさせたり 毛布に包んで 保温しましょう



反応が ない すぐに<mark>救急車</mark>をよび、 胸骨圧迫を行いましょう



おぼれた場合には <mark>救急外来を受診</mark>した ほうが良いでしょう



呼吸もなく 呼びかけても 反応がない

救急車を呼んで すぐに<mark>心肺蘇生</mark>を 行いましょう





事故(傷害)予防のポイント

家庭

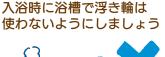
浴室に鍵をかけて 子どもが入ることが できないように しましょう



入浴後は浴槽の お湯を抜きましょう



おとなが髪を 洗っている間は 子どもを浴槽から 出しましょう





小さな子どもの入浴には、なるべく 複数の大人が関わる ようにしましょう





屋外

ライフジャケットを 着用しましょう





川の急な増水に備えるなど 事前に気象情報を確認 しましょう





実際にあった事例

浴槽用浮き輪による溺水 injury Alert (傷害速報) No.4

母が浴室で洗髪中、浴槽で浮き輪を使用していた9か月男児が浴槽内で溺れた。 発見時は反応がなかったが、数分で呼吸が再開。後遺症なく退院した。

子どもが間違って 薬を飲んでしまった

子どもは周囲のものに興味を持ち、何でも口に入れてしまいます。 自分用の薬は飲みたがらなくても、大人が飲んでいる薬は真似して飲みたくなってしまいます。 大人の飲んでいる薬の中には、高血圧の薬、糖尿病の薬、抗うつ薬など、

1錠でも体格の小さな子どもには命の危険がある時があります。

応急処置のポイント

返事(~~ 息をきちんとしているか 声をかけたら返事をするか(意識がしっかりあるか) を確認しましょう。

いつもと様子が違う



救急車を呼びましょう

医療機関を受診するときは 何をどれだけ飲んだかわかるもの (空き箱や添付文書、現場の写真など) を一緒に持って行きましょう。



= ||| =

電話で相談 することもできます 大阪中毒110番

つくば中毒110番

365日 24時間対応

365日 9~21時 072-727-2499

呼吸

029-852-9999

家庭での事故(傷害)予防のポイント

なるべく 子どもの見ているところで 薬を飲まないように しましょう





子どもの 手の届くところに 薬は置かないように しましょう (1m以上の高さ)



普段は手の届くところに置いていなくても 以下のような事故が報告されています

✓ 飲もうと思っていたが 別のことをしていて 置き忘れてしまった



☑ 高いところに置いていたが 子どもが台を持ってきて 届いてしまった



実家に帰省した際など 祖父母の薬が 子どもの手の届くところに 置いてあった



実際に あった事例

親の薬を食べてしまいけいれん Injury Alert(傷害速報) No.67

2歳の女の子、高さ150cmのキッチンの棚に置かれていた母の薬が置かれていた。 側に70cmの足台があり、それに登って薬を食べていたところを母が発見. 意識が悪くなり、救急車を要請. けいれんが止まらなくなり、集中治療室(ICU)に入院になった.

自動車と安全





乳幼児では自動車乗車中の交通事故死者・重症者のしめる割合が他の年齢に比べて高くなるため、道路交通法では、 チャイルドシートを着用しない6歳未満の幼児を乗せて運転してはならないことが決められています。 しかし、令和元年の警察庁の調査では、チャイルドシートの着用率は約7割にとどまり、 交通事故で死亡した子どもの約8割が、チャイルドシートの不適正使用・不使用と関連していました。

応急処置のポイント





19番通報して、救急車を呼びましょう。

顔色を観察しつつ、 体全体を見回して 傷がないかを観察します



2 压迫止血

傷から出血が続いている 場合には、ハンカチなどで 圧迫止血を試みます



3 声かけ

声をかけて意識の 有無を評価します



4 心肺蘇生 反応がな

心肺蘇生を行い ながら救急車を待つ 必要があります



家庭での事故(傷害)予防のポイント

6歳未満の幼児を車に載せる時は チャイルドシートを必ず正しく 使いましょう





チャイルドシートの 正しい使い方 (JAF)



あなたのチャイルドシート は大丈夫ですか? JAF が教える 「チャイルドシートの 正しい取り付け・着座方法」



歩行中の事故を防ぐため、

小学校に入る前から通学路や公園など 子どもの行動範囲を一緒に歩き

繰り返し交通ルールや安全な歩き方を確認しましょう

子どもと大人では、目線の高さが違うので、 子どもの視点から交差点や横断歩道、 見通しの悪い場所などの

危険箇所を一緒に確認することが大切です



, で い



車内置き去りを防ぐため、

自動車から降りる際は後部座席を確認する ことを心がけましょう

スマートフォンなどを後部座席にあえて置く ことも予防となります



実際に あった事例

助手席に進行方向後ろ向きに設置されたチャイルドシート着座中の交通事故 Injury Alert (傷害速報) No.44

7ヶ月の女の子を助手席に、進行方向後ろ向きに設置されたチャイルドシートに座らせていたところ、 停車中の前の車に衝突しエアバッグが作動した。頭蓋骨骨折と脳出血の重傷を負った。

自転車と安全

保護者が運転する自転車に2人までの幼児を同乗させることは法律上許容されますが、 子どもを乗せたまま自転車が転倒したり、幼児用座席から子どもが転落したりして ケガをする事故が多く発生しています。その他、不適切な2人乗りでは

自転車の後輪にお子さんの足が巻き込まれて深い傷を負う危険もあります(スポーク外傷)。

子どもがひとりで自転車に乗れるようになったら、自転車は交通事故の被害者にも加害者にもなり得ることを伝え、 親子で定期的に自転車の安全点検や交通ルールの確認を行うようにしましょう。



全身を観察し、 けがの部位と程度を調べましょう。

擦り傷

すぐに流水で流し清潔にしましょう

深いけが

血が止まらないような深いけがの場合は、布やガーゼで傷を覆い医療機関を受診しましょう

頭や顔 をけが その後の様子を見守り、次の状がある場合にはただちに医療機関を受診しましょう

🗸 頭痛が続く 🗸 嘔吐する 🗸 歩き方が不安定 🗸 眠りすぎる 🗸 反応がおかしい など

V 1 /

家庭での事故(傷害)予防のポイント

保護者が子どもを同乗させる場合(乳幼児期)

子どもには必ずヘルメットをかぶせましょう

幼児用座席は適正身長・体重および対象年齢を守り、 ハーネスをきちんと装着しましょう

子どもを自転車に乗せたまま、 背を向けたりそばを離れたり しないようにしましょう

前後に2人乗せている場合は、 前の座席の子どもを先に降ろしましょう

- 子どもを抱っこやおんぶして 自転車に乗ってはいけません
- 6歳以上の子どもの同乗は 後輪に足を巻き込まれる ことがあり危険です (スポーク外傷)
- 特に荷台に座らせるのは やめましょう



せたまま

子ども自身が運転する場合(6歳以上)

- 必ずヘルメットをかぶりましょう
- 自転車は自動車と同じです。 歩道では必ず歩行者を優先 しましょう
- 信号や道路標識などの 交通ルールを 必ず守りましょう

ながら運転

スマートフォンを 使いながら、 音楽を聴きながら などの 「ながら運転」は 大変危険です



自転車のタイヤ、ブレーキ、ライト などが適切に機能するか、 定期的に確認しましょう

実際に あった事例

自転車運転中の保護者に背負われた状態から転倒時に放出され 重症頭部外傷を負った乳児 Injury Alert (傷害速報) No.71

5か月の乳児。母は自転車を運転しており、児は母におんぶ紐で背負 われた状態であった。自転車が乗用車と接触し、自転車が転倒した際 に児がおんぶ紐から飛び出し頭を下にして落下した。医療機関で頭蓋 内出血を認めて、集中治療室に入室した。

自転車後部荷台同乗中のスポークによる右足部裂創(スポーク外傷) Injury Aler(傷害速報)No.100

5歳の男の子。父の運転する自転車の後部の荷台にまたがっていた。男の 子は裸足に草履を履いた状態であった。走行中、父は後輪に何かが挟まっ たような感覚がして自転車の速度が低下したことに気づいた。自転車を止 めて見ると、児の右足がスポーク部分に引っかかって出血していた。

中症



子どもは体温が上がりやすく、自分で予防できないことが多いため、熱中症になりやすいです。 熱中症になると、吐き気や大量発汗などの症状から、重度になると生命に関わることもあります。

環境

- 気温や湿度が高い
- 風が弱い
- 日差しが強い
- 閉め切った室内
- ●車の中
- エアコンがない
- 急に暑くなった
- ベビーカー(地面からの照り返し)





からだ

- 高齢者、乳幼児、肥満
- 持病がある人
- 低栄養状態
- 脱水状態(下痢など)
- 体調不良(寝不足など)



行動

- 激しい運動
- 慣れない運動
- 長時間の屋外作業
- 水分補給が 自分でできない







熱中症を 疑う症状

- めまい
- 失神
- 筋肉痛
- 筋肉のこむら返り





- 吐き気
- だるい



- よびかけに反応しない
- まっすぐ歩けない
- ▶ 高体温





応急処置のポイント





意識状態が悪いときには、 救急車を呼んでください。



冷たい濡れタオルで身体を拭きましょう

扇風機などで風を送り、涼しい場所に寝かせましょう

太い血管のあるところを冷やしましょう

✓ わきの下

❷首

✓ 太ももの付け根

家庭での事故(傷害)予防のポイント

こまめな水分補給 (経口補水液や スポーツ飲料など) をこころがけ ましょう



日差しや地面からの 熱から守り こまめに日陰・屋内 で休憩しましょう



短時間でも 車内など 暑い環境に 置き去りに しないように しましょう





気温と体温に合わせて 衣類を調節

しましょう



子どもの異変に 敏感になりましょう



屋内では適切に クーラーを使用 しましょう



日頃から 暑さに慣れて おきましょう



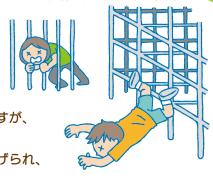
実際に あった事例 夏の車内に閉じ込め Injury Alert(傷害速報) No.43 事例 2

1歳の男の子 8月末の朝9時半頃、日陰の無い駐車場で乗用車内に閉じ込められた。 ガラスを割って救出されるまでにぐったりし体温39.9℃に上昇した。

遊具と安全

子どもは遊具を使った遊びを通して冒険や挑戦をし、心や体の能力を高めていきますが、 そこには危険が隣り合わせです。

事故原因となりやすい遊具は、滑り台、ブランコ、鉄棒やジャングルジムなどがあげられ、 年齢は6歳以下が多く、「墜落・転落」による上肢や顔の怪我が多いです。



応急処置のポイント

頭をぶつけた

安静に 寝かせる 意識・動き を確認 安静に横に寝かせ、 意識や手足の動きを確認しましょう



打撲や、腫れている部位

冷却

骨折を 疑う場合は 副え木 氷のうなどで冷却し、 手足の骨折を疑う場合は副え木などで 固定しましょう



傷

水道水で 洗浄

圧迫止血

傷があれば水道水で洗浄し、 出血している部位は清潔なタオルなどで 圧迫しましょう



家庭での事故(傷害)予防のポイント

遊具の対象年齢・使用方法を確認し、 6歳以下の幼児には保護者が付き添い ましょう





雨天時は 滑りやすく転倒・転落に 注意しましょう



手すりや防護柵がない遊具や 周囲に衝撃吸収マットがない遊具は 利用しないようにしましょう



子どもの衣服や所持品に注意しましょう 特に首回りや 遊具にひっかかるもの は避けましょう



夏場は

金属製の遊具が熱くなっているので やけどにも注意しましょう



遊具の不具合や破損、 繰り返す事故があったら、利用を控え 管理者に報告しましょう



実際に あった事例 遊具による溢頸 Injury Alert(傷害速報)No.27

3歳の女の子が、高さ2mある遊具の鉄柵の間に首が挟まりぶら下がっているところを発見された。 救出された際には意識がなかったが、まもなく回復し大事には至らなかった

水遊びで安全

4歳以下では家庭内の浴槽で溺れる事故が多く、5歳以上になると屋外での溺水事故が増えます。

子どもが溺れる事故を経験した保護者の8割以上が「悲鳴や助けを求める声が聞こえなかった」とされています。 溺れる時、子どもは声を出さず、静かに沈むのです。

プールや海、川といった多くのフィールドへ出ていく学童期以降の子どもは

保護者の目の届かない瞬間も増えてしまうため、溺れた時の発見が遅れる可能性があります。

応急処置のポイント

まず

水中から引き上げ安全な場所で寝かせましょう。





すぐに救急車をよび、胸骨圧迫を行いましょう



嘔吐する

体ごと横に向けて、喉に吐物が詰まらないようにしましょう

反応がある

衣服の交換や水の拭き取りを行い、保温しましょう



溺れた場合は、大丈夫そうに見えても救急外来を受診した方が良いです

家庭での事故(傷害)予防のポイント

川や海で遊ぶときは 必ずライフジャケットを着用 しましょう



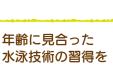
事故の起こりやすい地形(水流)を天候は可能な限り

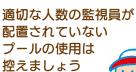
事前に把握しましょう





5歳までは必ず泳いでいる子どもに 手の届く範囲内に いましょう









実際にあった事例

公共財団法人 河川財団 水難事故 2021

家族4名で川遊び中に子ども1名が流された。子どもはライフジャケットを着用しており近くにいた人に助けられ、助けようとして流された親はライフジャケット未着用で死亡した。

海上保安庁 海の安全推進部 海で安全に楽しむために平成 29 年度版

家族8名のうち子ども3名が波打ち際で遊んでいたところ、高い波を受け沖に流された。父親と付近で釣りをしていた男性が救助に向かった男性が同様に沖に流され5名全員が死亡した。

スポーツと安全

スポーツは子どもの体とこころを健康に保つために欠かせないものです。 しかしスポーツを安全に行うためには気をつけなければならないことがあります。 一般的に相手と接触するスポーツの方がケガの危険性が高くなりますが、 どんなスポーツでもケガを負う危険性はあります。

脳しんとうは頭や首が相手や用具(ボールなど)、地面にぶつかることで起こります。

靭帯や筋肉を痛めるケガが最も多く、骨折も起こり得ます。

特に成長期を迎えている子どもは骨折の危険性が高いとされています。



応急処置のポイント

応急処置は外傷部位・種類によって変わります。

最も多いねんざなどの 応急処置の基本は

RICE

安静 R Rest







スポーツを行う際には、応急処置用の氷・ビニル袋などを常備しましょう。



家庭での事故(傷害)予防のポイント

- 正しいサイズ、用途に合った防具を着けましょう (ヘルメット、マウスピース、各種プロテクター、目の防護具など)
- スポーツを行う前と後には必ず入念なストレッチを行いましょう。
- 正しい技術を学んだ上でスポーツを行いましょう
- 休息をきちんと取りましょう
- 一年間のシーズンの中で2ヶ月間の休息を設けることで、やり過ぎに伴うケガを防ぐことができます
- 危険なプレーは行わないようにしましょう。(例:野球でのヘッドスライディングなど)
- もし痛みを感じたらすぐにプレーを中断しましょう

熱射病や熱中症などを防ぐために、以下のことを心がけましょう

- プレーの前、最中、後に十分な水分補給を行いましょう
- 夏場のシーズンに入ったら、2週間程度かけてゆっくりと運動量を増やして 暑さと湿度に慣れるようにしましょう
- 体に不調を感じたらすぐにプレーを中断しましょう
- 軽くて風通しの良い衣服を着用しましょう
- 雷が鳴り始めたらすぐにプレーを中断しましょう
- プレーを行う場所が安全であることをプレー前に確認しましょう
- 新しくスポーツを始める前には医療機関を受診し、安全にスポーツが行えることを確認しましょう
- 特に喘息などの基礎疾患や突然死などの家族歴をもっている場合は必ず受診しましょう
- 学校の運動器検診を受けるようにしましょう





実際にあった事例 整地用グラウンドレーキ (トンボ) による内臓損傷 Injury Alert (傷害速報) No.72

14歳男の子がトンボをお腹で押し、走ってグラウンド整備をしていたところ、転倒しトンボの柄で腹部を強打した。十二指腸を損傷し、緊急 開腹手術となった。本来トンボは歩きながら引いて使用するものであり、用具を正しく使わなかったことが事故の一因であったと思われる。



火の元と安全

私たちにとって身近で危険な火災は、住宅火災です。

火災の原因は「タバコ」が最多(9%)ですが、「火あそび」による火災も発生しています。

火災に巻き込まれた場合、火災報知器がなってから安全に逃げることができるのは2分間と言われています。

そのため、火災報知器を設置し、2分間で避難できるよう、日頃から確認しておきましょう。

応急処置のポイント

火災に巻き込まれた場合、

軽症と思われても気道熱傷(空気の通り道のやけど)を起こしている可能性があります。

速やかに医療機関を受診しましょう。



家庭での事故(傷害)予防のポイント

火災の原因の第一位はタバコです 子どもにはタバコの危険性を





また、 喫煙している大人は 禁煙を目指しましょう



ライター、マッチなどは子どもが 興味を持って触ることがあります 手の届かないところで保管しましょう

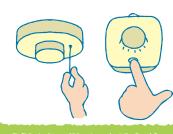


ライターは安全装置が付いているもの を使用しましょう ガスコンロや暖房器具の周囲には 燃えやすいものは置かないように しましょう



場所によっては、柵を置いて 子どもが触れられないように しましょう

火災報知器を設置し、 定期的に子どもと一緒に 作動テストをしましょう



火災報知器が鳴った後、 2分間で避難ができるかどうか 子どもと一緒に確認しましょう







実際にあった事例

2ルームテント内での一酸化炭素による中毒 injury alert (傷害速報) No.83

8歳男児、6歳女児の兄弟がキャンプ場の2ルームテントの入口でバーベキューコンロを用いて調理したのち、 頭痛・意識消失を生じ医療機関を受診。静脈血高COHb血症を認め、一酸化炭素中毒と診断された。

動物に咬まれた

動物に咬まれるけがの多くがイヌ、ネコによるものです。

小さい子どもでは身長が低いため頭や顔を、

小学生以上では手足を咬まれることが多いです。男の子では陰部を咬まれた報告もあります。 またイヌ、ネコ以外のペットや、野生動物に咬まれることもあります。

動物に咬まれると傷口から感染を起こす危険があり注意が必要です。





応急処置のポイント



できるだけ早く大量の<mark>流水</mark>で 傷口をきれいに洗うことが重要です



傷口から出血 がある場合

清潔なガーゼで 圧迫して止血を します。



早めに医療機関を受診

傷口から感染する可能性が高いため 医療機関を受診しましょう

破傷風ワクチンの追加が 必要になることもあるため、 過去の接種記録が分かるように 母子手帳を持って行きましょう





直ちに救急車を呼ぶ

- ❷ 呼吸が苦しそう

動物の種類によっては アナフィラキシーという 重いアレルギー反応を 起こす危険があります



家庭での事故(傷害)予防のポイント

小さい子どもがいる家庭で 犬を飼い始める際には 穏やかな気質の犬種を 選びましょう



短時間であっても 絶対に小さい子どもと犬を 一緒に放置しないようにしましょう





ペットをサークルやゲージに入れるなど、空間的な分離を図りましょう





去勢を検討しましょう



ペットを飼う際に動物の習性や嫌がる行動を子どもと一緒に 映像やパンフレット、書籍などを使って確認しましょう









これは 女無なん だね

実際にあった事例

犬による外陰部外傷 Injury Alert (傷害速報) No.2

生後10カ月の乳児 (男児) が夜間寝室の布団で就寝中、深夜に室内で飼育していた中型犬 (シェパードとの雑種) が児の陰茎および精巣を嚙みちぎった。 児の命に別状はなかったが、 輸血と大掛かりな手術を要した。

子どもが何かを飲み込んだ

赤ちゃんが大きくなって身の回りのいろんな物に興味を持ち始めると、

なんでも口にして、時には飲み込んでしまいます。

赤ちゃんの手が届いて口に入るものであれば、いつでも誤飲が起こり得ます。

赤ちゃんはどんどん成長しています。

昨日までは、"まさか手が届かないだろう"、"この蓋は開けられないだろう"と思っていても、

明日には手が届いたり開けられるようになります。

また3歳の子どもが口を開けた時の大きさは39mm、喉の奥までは51mmなので、

それ以下の大きさのものは簡単に口の中に入ってしまいます。



応急処置のポイント

すぐに医療機関を受診

- ✓ よだれが多い・口を開けたままで息をして、苦しそう
- ✓ 咳き込みが多い
- ✓ 吐いてしまった。とくに吐いたものに血が混じっていた。
- ✓ お腹を痛がる
- ✓ うんちに血が混じっている 🥻









子どもが誤飲した 時の応急処置 ▼



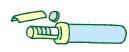
家庭での事故(傷害)予防のポイント

ご家庭にあるボタン電池は、 絶対に子どもの手の届かない所に

保管しましょう



ボタン電池を使用している おもちゃなどのふたが 外れやすくなっていないか 確認しましょう





小型の強力な磁石が 使用されているおもちゃで 遊ばせないようにしましょう







おもちゃのパッケージにある 推奨年齢表示に従って おもちゃを選びましょう









片付けの時に、 あらかじめおもちゃの個数が わかるように習慣つけましょう



実際にあった事例

ボタン電池を飲んだ Injury Alert(傷害速報) No.13

1歳2か月の男の子。居間の引き出しに入っていたボタン電池が1個なくなっていることに母親が気づいた。

同時に子どもが何度も嘔吐して、息が苦しそうだったので救急車を呼んで、病院へ搬送された。胸部のX線で食道にボタン電池と思われる異物が認められた。

複数のマグネットの誤飲 Injury Alert(傷害速報) No.66

1歳7か月の女の子。1週間前から腹痛の訴えが何度かあったが、いつも自然によくなるので様子をみていた。いつものように腹痛を訴えたが、何度も嘔吐したので、近所の小児科を受診した。腹部X線検査で5個連なったマグネットボールと思われる異物がみつかった。3歳の兄のおもちゃとして購入したものだった。

耳・鼻に入ったものがとれない

子どもは1歳を過ぎると、いろいろな物に興味を示し、なんでも口に入れようとします。 2歳ごろになると、耳や鼻の中に自分で入れてしまったり、

きょうだいがいたずらで入れてしまい取れなくなってしまうことがあります。

本人が入れてしまったことを言い出せなかったり、忘れてしまったりして、発見が遅くなることがもあります。 耳であれば、耳垂れや出血、痛みなどが、鼻であれば片側からの臭いがする鼻水や、鼻詰まりや、鼻血が

長く続くことなどがあれば受診を検討しましょう。

応急処置のポイント



落ち着いて、入れてしまったものや時間など、 わかる範囲で聞き出してください

この際、子どもを責めることがないように 配慮してあげてください



鼻

医療機関を受診

- ✓ 無理に取ろうとしない
- ✓ 鼻をかませない
- ❷ 受診

鼻に入れたものは 無理に自宅で 取ろうとせず受診をしてください。 また、鼻をかませると逆に 吸い込んでしまうことがあります。

耳

医療機関を受診



ボタン電池・ネオジム磁石 鋭利なもの・生きた虫



玩具(BB弾・ビーズなど)



耳に入れたものが、ボタン電池やネオジム磁石、 鋭利なもの、生きた虫であれば速やかに受診してください。 BB弾やビーズなどの玩具であれば、 日中に耳鼻科を受診しましょう。



受診の際は、入れてしまったものと同じものがあれば持参してください。

家庭での事故(傷害)予防のポイント

6歳以下のこどもには、 耳や鼻に入るサイズのものを与えないようにしましょう



実際にあった事例 複数個の磁石による鼻腔粘膜損傷 Injury Alert No.78

10歳男児がネオジム磁石を鼻に入れて遊んでいたところ、両鼻に入ってしまい、間の仕切り(鼻中隔)を挟んで接着してしまった。 自力で取り外すことができず、2時間が経過して痛みが強くなりったため、医療機関を受診。 接着を解除し除去することができ、大事には至らなかった。

口の中のけが(口腔内・咽頭外傷)

歩くことに慣れるまでの1-2歳が口やのどに最もけがをしやすい時期です。 歯ブラシやお箸などは転んだときにのどに刺さることがあり、 その先にある脳や血管に傷が入り、命に関わることがあるので予防が大事です。



応急処置のポイント

直ちに救急車を呼ぶ

- ✓ □や鼻から血がたくさん出る
- ❷ 意識がおかしい
- ❷ 呼吸が苦しそう
- ❷ 手足の動きが悪い
- ❷ ものが口の中にささったままの場合







無理に抜かずに、 すぐに救急車を呼びましょう

早めに医療機関を受診

✓ □の中に刺さって 抜けた場合



すぐに受診 しましょう



家庭での事故(傷害)予防のポイント

床につまずくものを 置かない



歯ブラシなどの 刺さりうる物を持ったまま 歩かないようにする



歯磨きは洗面所でおこなうなどのルールをつくる子どもが自分で歯磨きをする場合は、 保護者の見守りのもとで座ってする



喉突き防止 歯ブラシを用いる



歯ブラシによるけがについては下の東京消防庁のホームページ、 東京都のパンフレットをご覧ください

- 東京消防庁 乳幼児の歯みがき中の事故に注意!
- 東京都 乳幼児の歯みがき中の喉突き事故に注意!

実際に あった事例

歯ブラシによる口腔内外傷 Injury Alert(傷害速報)No. 34

4歳男児。夕食後歯磨きをしながらソファの袖に立っていたところ転倒し、歯ブラシの柄がのどに刺さった。 歯ブラシの先端は折れており、全身麻酔下にて摘出した。

手、指のけが(手指外傷)

乳幼児の手や指のけがの多くはドアを閉める際のすき間や蝶番部分にはさまれることで起こっています。屋内ドアが最も多いですが、車のドア・窓、エレベータードアや戸袋、さらにエスカレーターの手すりベルトや吸込口、折り畳みベビーカーのヒンジなど様々な原因で手や指の挟み込み事故が報告されています。

さらにカッターやハサミなどの刃物、ジューサーやミシンなどの工具、洗濯機などによる 手や指のけがも報告されており、指の切断に至った事故も起こっています。



応急処置のポイント

切り傷

水道水で 傷口の汚れを しっかり洗う



清潔なガーゼ をあて圧迫止血



絆創膏や包帯で 固定しましょう



早めに医療機関を受診

✓ 大きい傷や深い傷

血が止まりにくかったり、神経や腱などの評価が必要な可能性があるので医療機関を受診しましょう

✓ 手や指が腫れて痛みが強い

無理に動かさずに 医療機関を受診しましょう

✓ 傷口に異物が残っている





切断された

切断された指は

- ぬれたガーゼにくるみ
- 2 ビニール袋に入れて、
- 3 氷水入りの袋や容器に入れて

一緒に医療機関へ持っていきましょう

切断指を直接氷水に入れる のは組織が破壊されるので やめましょう



家庭での事故(傷害)予防のポイント

ドアの開閉時には、 子どもが近くにいないか 確認しましょう



蝶番部に すき間防!

すき間防止カバーなど 指はさみを防止するグッズ を取り付けてみましょう



刃物や大きな力が働く工具 は子どもの手の届かない ところに保管し、

使用する際には子どもを近くに 寄せないようにしましょう



エレベーター、 エスカレーターの付近では 遊ばせないように しましょう



実際にあった事例

ベビーカーによる指先の切断 Injury Alert(傷害速報) No.26

3歳の女の子。ベビーカーへ座る際、座席横のヒンジ部分の指が挟まった状態で力がかかり、小指の先端が切断されてしまった。

●その他の関連事故

ジューサーによる指控創 Injury Alert (傷害速報) No.46 開閉式ドアによる手指外傷 Injury Alert (傷害速報) No.90 家庭用手動薪割り機による手指圧控創 Injury Alert (傷害速報) No.95 乗用田植機の歯車による手指控滅創・骨折 Injury Alert (傷害速報) No.99 ミシン針による指刺創 Injury Alert (傷害速報) No.101 洗濯機の底に手を入れ底部回転部で受傷した手指外傷 Injury Alert (傷害速報) No.108